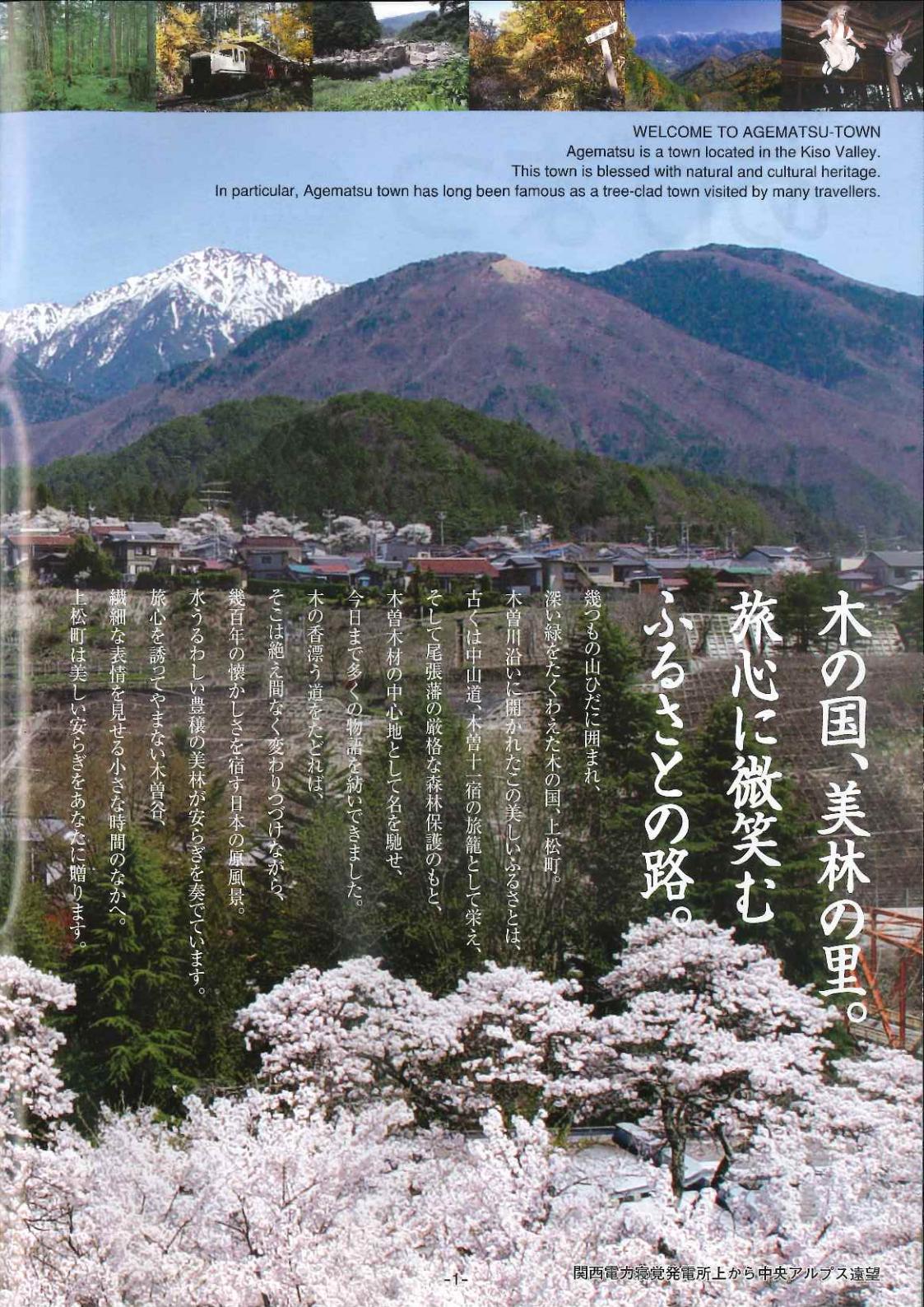
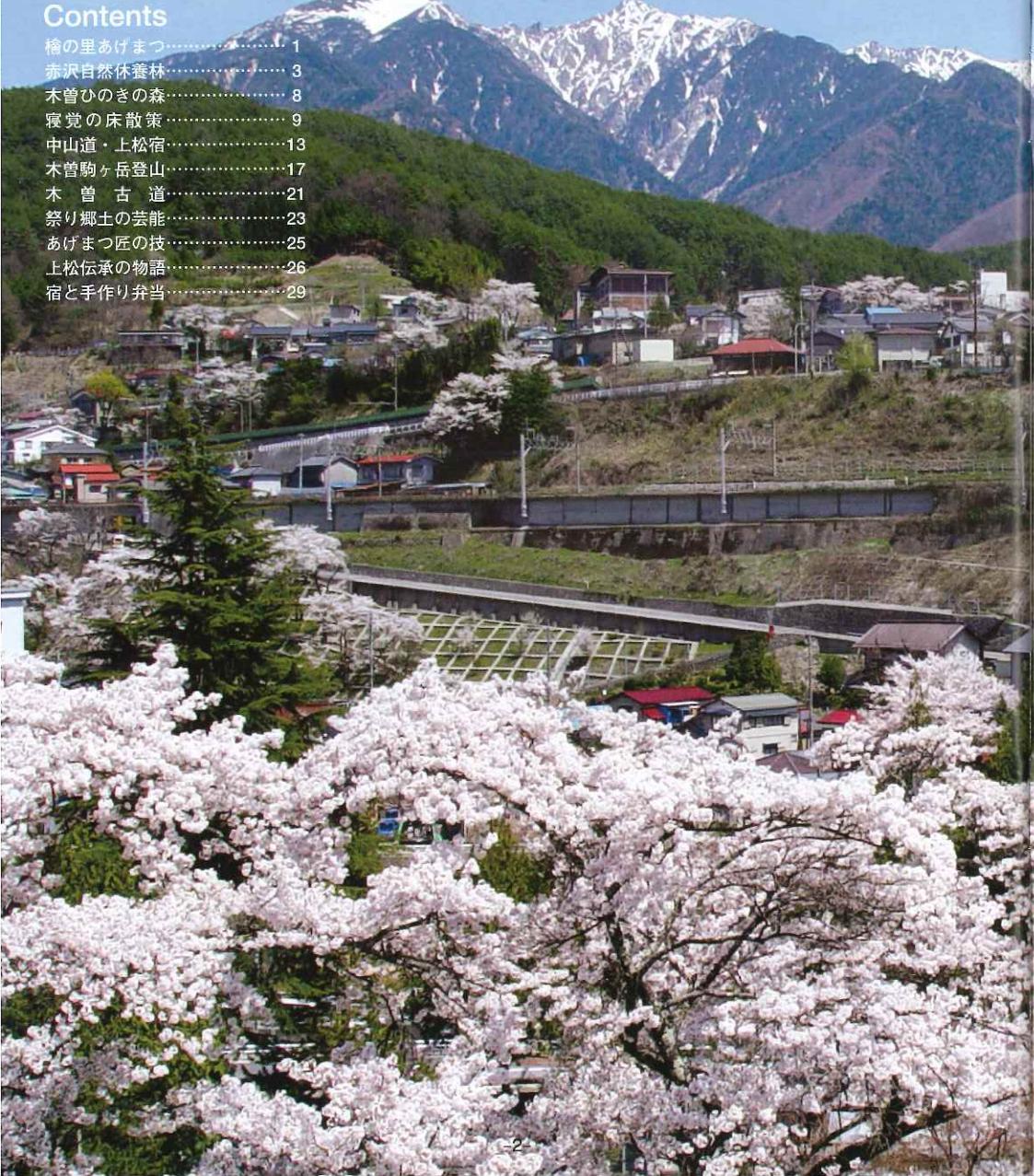




上松町キャラクター「太郎ちゃん」と「美林ちゃん」

Contents

檜の里あげまつ	1
赤沢自然休養林	3
木曽ひのきの森	8
寝覚の床散策	9
中山道・上松宿	13
木曽駒ヶ岳登山	17
木曽古道	21
祭り郷土の芸能	23
あげまつ匠の技	25
上松伝承の物語	26
宿と手作り弁当	29



WELCOME TO AGEMATSU-TOWN

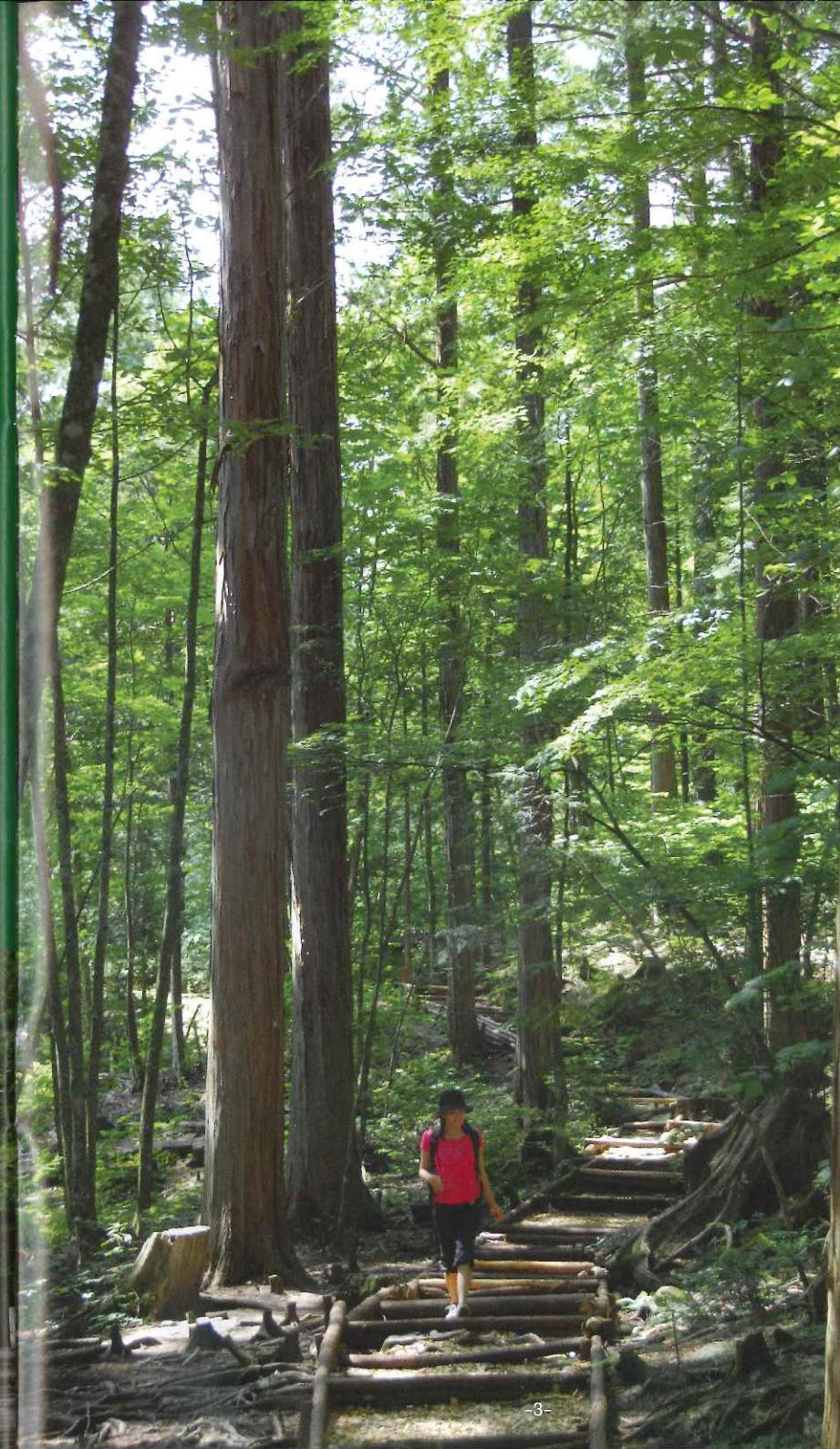
Agematsu is a town located in the Kiso Valley. This town is blessed with natural and cultural heritage. In particular, Agematsu town has long been famous as a tree-clad town visited by many travellers.

木の国、美林の里。
ふるごとの路。

深い緑をたくわえた木の国、上松町。
木曽川沿いに開かれたこの美しいふるさとは、
古くは中山道、木曽十二宿の旅籠として栄え、
そして尾張藩の厳格な森林保護のもと、
木曽木材の中心地として名を馳せ、
今日まで多くの物語を紡いてきました。
木の香漂う道をたどれば、
そこは絶え間なく変わりづけながら、
幾百年の懐かしさを宿す日本の原風景。
水うるわしい豊穣の美林が安らぎを奏でています。
旅心を誘つてやまない木曽谷、
繊細な表情を見せる小さな時間のなかへ。
上松町は美しい安らぎをあなたに贈ります。

森林浴発祥の地 赤沢美林

日本三大美林のひとつに数えられる赤沢自然休養林、樹齢三〇〇年、雄大な木曽檜の世界。



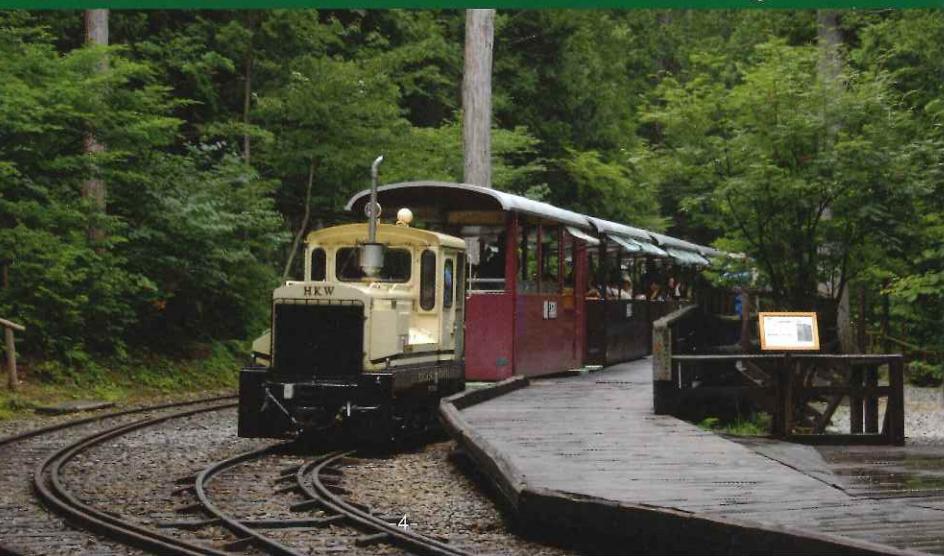
清冽な大地を歩き、
生命の息吹に触れる感動。



赤沢自然休養林は、木曽の山と木と人、歴史と文化に触れることができる森。かつて木曽谷で活躍していた森林鉄道が、当時の車両をそのままに、檜の森を走っています。緑の風を浴びて走る開放感は、たまらない爽やかさ。子供広場や、森の不思議や歴史に触れる資料館などの施設も備えられ、体験と学習、レジャーを一度に楽しむことができます。

若緑がまばゆい春、林間の涼風に安らぐ夏、そして紅葉に彩られる秋。威風堂々の檜の大樹が、神祕の生命力を山に響かせています。尾張藩の保護のもと、三百余年にわたって大切に守られてきた赤沢自然休養林は、林内に8つの遊歩道コースが伸びる深閑の森。小径をたどれば渓流にはイワナやアマゴの姿、清々しい水音、鳥のさえずりや可憐な草花に出会うことができ、心を休ませることができます。

A tiny railway runs through the forest.
The locomotive is the one having
once been playing an active part
in the Kiso Valley.
You can have experience of riding in a train.



森林鉄道

かつて木曽谷の山林で活躍した鉄道。
車窓を駆けてゆく森と渓流の情景、清々しい風。

In the Akasawa Natural Recreational Forest,
native Japanese Cypresses estimated
to be 300 years old are growing.

This forest is the birthplace of forest bath in Japan.
This forest is also ranked among the three most beautiful forests in Japan.

赤沢自然休養林 散策

赤沢自然休養林は

樹齢三百年を超える檜の天然林。

世界的にも貴重な天然檜林は、

二十二世紀に残したい日本の自然百選、「

森林セラピー基地」などに選定され、

「かおり風景〇〇の選」などに選定されました。

In the forest, there are eight trails.
There is also a safe and comfortable promenade.
Let's learn the beauties of nature by experience.



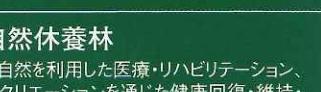
日本三大美林のひとつに数えられ、
森林浴発祥の地としても知られています。
林内には8つの遊歩道や森林資料館など
気軽に散策観察が楽しめる施設が整えられ、
昭和60年御神木伐採跡地、「森の日日本百選」、
「森林セラピー基地」などに認定されました。



遊歩道 [D-2] STROLL ROAD
鳥の歌、渓流の響き、大樹や草花との出会い。
散策では観察とリフレッシュが気軽に楽しめます。



森林資料館 [D-2] FOREST MUSEUM
木曽谷の林业の歴史、木曾五木や野鳥など赤沢の自然を、貴重な資料・文献・写真などで紹介。



森林鉄道記念館 [D-2] FOREST TRAIN MUSEUM
木曽谷で六十余年にわたって活躍した森林鉄道。当時の車両や器具、道具、資料を保存・展示。

森林セラピー基地 赤沢自然休養林

「森林セラピー®」とは、「森林の地形や自然を利用した医療・リハビリテーション、カウンセリング」また、「森林浴、森林レクリエーションを通じた健康回復・維持・増進活動」のことを意味します。

森林セラピー®の研究では、森林浴を行うことにより森林の樹木が発散するフィトンチッドによって免疫力をつかさどるNK細胞が活性化し、抗がんタンパク質の濃度が上昇し継続するなどの効果が明らかになってきています。現代のストレス社会において、森林浴や木材がもたらす生理的・心理的リラックス効果や、免疫力向上への期待が高まっています。



セラピー体験館 [D-2]

簡単な健康相談や森林セラピー効果測定が受けられる『森のお医者さん』を開設。(5月から10月末までの毎週木曜日/保健師・看護師は水曜~金曜日)



森林浴の効用

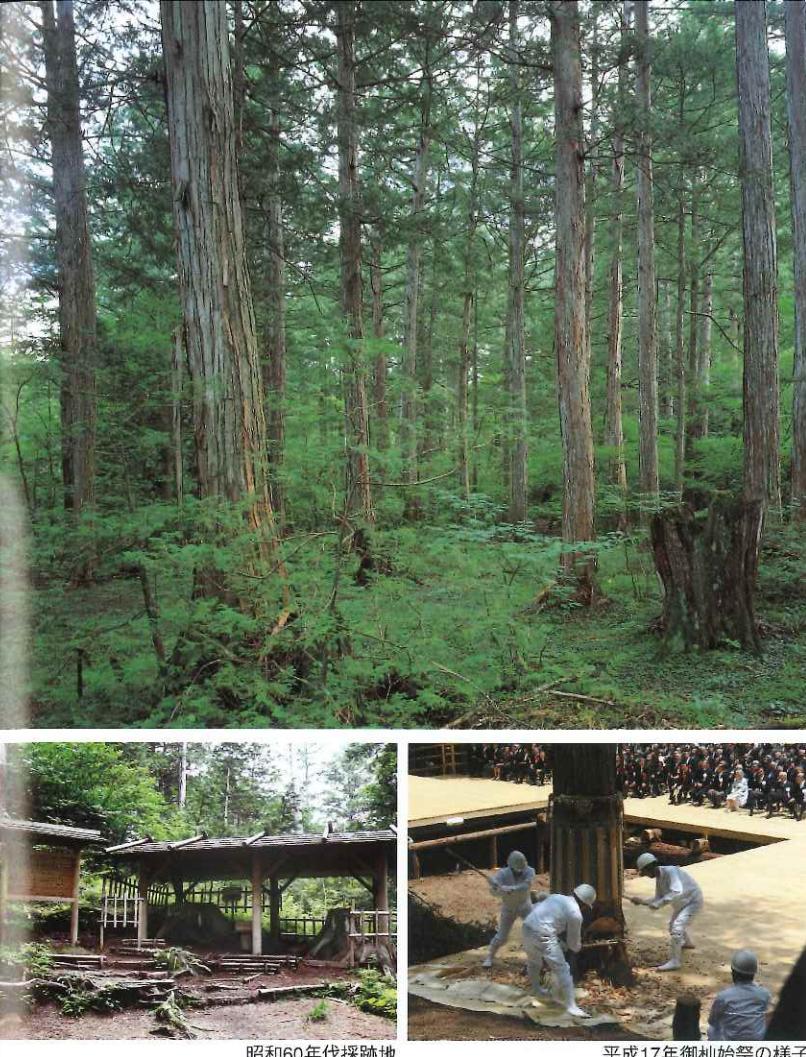
静寂のなか、澄んだ爽やかな空気を浴びる森林浴。樹が発散する「フィトンチッド」は、心地よい安らぎの成分。殺菌物質を含む微妙な香りには、脳や心を静めるアロマセラピー効果があり、

マイナスイオンを生む渓流は適度な湿度を保ち、木々の枝葉がフィルターとなって空気中のチリやスズを浄化してくれます。目にも優しい自然の彩りを楽しみながら、森林がもつ不思議な力を深呼吸して、リフレッシュを楽しめましょう。

伊勢神宮御用材 御神木

御神木始祭 MISOMAHAJIME SAI
古くから伊勢神宮の御用材として管理された赤沢美林。20年に一度の遷宮行事・御神木始祭にあわせ、選びぬかれた御神木を斧(ヨキ)を使い三ツ紐伐り(みつひもぎり)の技法で伐採される。

Native cypresses growing in the Akasawa National Recreational Forest will be used as building materials for the Grand Shrines of Ise. They are cut down once in twenty year in accordance with a time-honored custom.



NPO「木曽ひのきの森」

NPO法人「木曽ひのきの森」は赤沢自然休養林をベースに、森林資源の大切さ、素晴らしさを守り伝える活動を行なっています。

赤沢自然休養林で、
森林散策のご案内を行います。

水を蓄え酸素を生み出す森林資源、とても大切な財産です。この自然の大切さ、木々や花々の美しさなどを、林業と共に生きてきた木曽の歴史を交えながら案内します。

**森林環境の
保全を行なっています。**

**学習、調査研究を
進めています。**

「木曽ひのきの森」では、森林資源の保全を両立するための活動を行なっています。遊歩道には、木材から出たビニキの樹皮を敷き詰め、踏圧による被害を抑制。また雨水で流出した土砂を補完します。さらに、生態が変わった植物を保護する活動も行なっています。所マップ制作を進めています。

※赤沢美林ご案内のご相談・お申しだしは左記上松町観光協会まで。

TEL／0264(52)1133

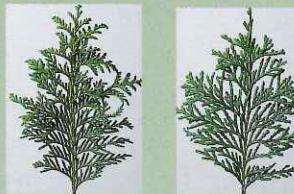
The "Kiso-Hinoki-no-Mori" is a certified NPO corporation. This corporation serves to preserve and leave precious forest resources with the Akasawa National Recreational Forest as a basis.



コウヤマキ(コウヤマキ科)
葉は細長く、多数輪生しているのがポイント。水に強く船や風呂桶の材料に使用されている。



アスナロ(ヒノキ科)
別名ヒバ。葉は広く大きいのが特徴。狂いが少なく建築材に適している。



ネズコ(ヒノキ科)
別名クロベ。葉はウロコ状で、葉の先がとがっています。耐湿性に富み、桶や曲物の材料に使用される。



サワラ(ヒノキ科)
小さなウロコ状で、葉の先がとがっています。耐湿性に富み、桶や曲物の材料に使用される。

木曽五木

森林浴を楽しむなら
木曽を代表する
五木の名前や特徴を
覚えましょう。



森林鉄道【D-2】FOREST TRAIN
ディーゼル機関車に引かれた客車が、赤沢美林内を運行しています。

ボールドウイン号【D-2】THE BALDWIN
大正5年から昭和35年まで、42万キロを走り抜いた蒸気機関車。古き良き時代の実車が展示されています。1号機は製造から1世紀を経ており、近代化産業遺産・林業遺産にも指定されました。

森林鉄道

森林を駆ける

深い谷に隠れた
息をのむ景勝。
寝覚の床

白々とした大岩奇岩が並びたち、その底に翠緑の水をたたえる木曽の名勝

かつて木曽川を流れの渦巻きの水渦を巻く激流はしき飛ぶ櫻か

歴史を刻むように磨いた木曽川の造形は、

今も昔もしばし旅人の感嘆と安堵を呼び起こします。

寝覚の床この不思議な名は、

晩年をこの地で過ごした浦島太郎の伝説に由来するもの。

現世に戻り、諸国をさまよった浦島太郎は、

上松の里が気に入つて住みつき、毎日、寝覚の床で好きな釣りを楽しみました。

床岩の上に祀られた「浦島堂」は玉手箱を開いて煙を浴び、

たちまち三百歳になってしまったその不思議な翁の姿を語り継いでいます。

Nezame-no-Toko

Nezame-no-Toko is a scenic spot characterized

by rocks of fantastic shape as a

creature of rapids in River Kiso.

It has long been solacing the travellers mind.

歴史・伝説にふれる 憩いの渓谷 寝覚の床

木曽川の四季に併み、自然に癒される時。

アートや歴史の余韻も心に流れて。

昔からどれほど多くの旅人がこの風景に足を止め、しばし岩と水の不思議な美に見とれたことでしょう。

今でもこの景勝の地はアートな安らぎと、歴史伝説にふれる憩いの渓谷。

深い時が季節のなかを悠々と流れています。

寝覚伝説

深い時が、伝説が
季節のなかを悠々と流れしていく。



雪の寝覚の床 Beautiful snow scene [C-4]

厳しい冬の雪化粧も寝覚の床の魅力です。周囲の木々が綿帽子のような純白の雪を纏い、大きな岩の間を縫うように紺碧の冬空を映す木曽川の流れは、まるで一幅の水墨画を見ているような美しさです。

※冬期の寝覚の床は氷雪で滑りやすく危険ですので十分お気をつけてください。

Nezame-no-Toko is provided with a park.

In this park, objects with space-time themes are on display.



臨川寺(弁財天)【C-4】RINSENJI TEMPLE

名勝・寝覚の床を一望する古刹。木曾七福神の1つ弁財天を祀り、街道沿いの7つの古寺を結ぶ霊場にもなっています。境内には芭蕉・子規・山頭火の句碑、浦島太郎伝説の資料館があります。



臨川寺宝物館【C-4】

RINSENJI TEMPLE TREASURE MUSEUM
浦島太郎が愛用したと伝えられる釣竿や日用品のほか、古民具・古道具などを展示しています。



松尾芭蕉・正岡子規碑【C-4】

MONUMENT OF HAIKU

臨川寺境内には「星かほに星寝せうもの床の山／芭蕉」をはじめ正岡子規、尾張の俳人横井也有の句碑があります。



木曽路美術館【D-4】

KISOJI ART MUSEUM

広重・英泉の合作による浮世絵「木曾街道六十九次」(特別期間のみ公開)、古陶磁、蕎麦猪口や近代日本の彫刻・絵画の優品を収蔵し順次公開しています。(展示詳細は要問合せ: TEL0264-52-2554)

寝覚の床美術公園【D-4】

NEZAME-NO-TOKO ART PARK
寝覚の床に隣接する美術公園。浦島太郎の伝説にちなんで「时空」をテーマにした屋外彫刻、地球の自転軸のゆらぎまで計算した巨大な日時計のモニュメントなどが展示されています。

Nezame-no-Toko is a place noted in connection with a tale of old Japan "Taro Urashima".



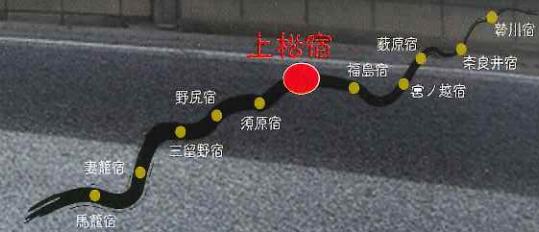
寝覚の床【C-4】NEZAME-NO-TOKO

浦島堂の小さな祠が祀られる寝覚の床の大岩群の上へは岩づたいに登ることができます。木曽八景の幻想的な風景が間近に眺められます。



懐かしい風景が、あちらこちらに隠れている上松町周辺。
過ぎた日々との出会いを求めて、ぶらり散策。

中山道上松宿



山里らしい町並みに安らぎを感じます。
時の流れと暮らしのなかで
深い郷愁を覚える路地に、
言いようもない温もりを感じます。
中山道宿場町の歴史から、
木の国、木曽五木の集散拠点として
賑わう今日まで、
幾つもの歳月を重ねる風景。
そぞろ歩くほどに、
くつろぎが訪れる上松町です。



<Agematsu in Nakasendo Road>
In Agematsu town, a scene of old Japan still subsists.
You will feel a warm nostalgia
for the appearance of old-fashioned houses and alleys.

京へ六十五里、江戸から七十一里。

中山道上松宿を歩く

全長百一十九里、六十九宿を連ねる中山道。

そのうちの十二宿を数える木曽街道にあって、上松宿は、古くから木曽檜をはじめとする木の故郷として多くの仕事人と旅人を集めた活気と賑わいの宿場でした。町を巡れば昔日を偲ばせる神社仏閣、由緒ある句碑や史跡名勝。

江戸が今も蘇る見どころが多彩です。

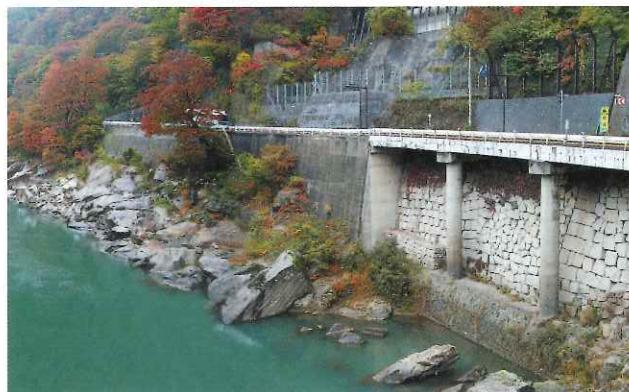


木曽の棧【A-1】KISO-NO-KAKEHASHI

かつては、危いものの代名詞として古くから歌枕にも詠まれ、中山道一の難所と言われた場所。木曽川の絶壁に数百メートルに渡って架けられた藤づるで編んだ棧橋でしたが、現在は旧国道の下の石積みにわずかに街道の面影をとどめるに至っています。



①木曽八景 棧の朝靄【A-4】



①木曽川と棧【A-4】



③玉林院【B-5】GYOKURININ TEMPLE

木曽家十六代目、木曾義元の二男にあたる玉林が創建したと伝えられる寺。推定樹齢二百年の黒松と、明和3年(1766)造営の山門が美しい調和を見せ、天神堂(天満宮)横のシダレザクラは毎年美しい花をつけます。



<Walking through Agematsu Post Town>
About 300 years ago,
Agematsu was one of post towns
in the highway named Nakasendo.
In this town, shrines, Buddhist temples,
stone monuments, etc. giving us some
idea of its former glory still remain.



木曽八景 駒の夕照【B-8】



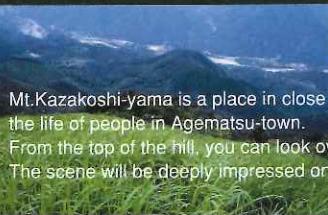
From this town, you can look at Mt. Kisokomagatake,
the highest peak of Central Alps
rising about 3,000 meters above the sea.
Mountains around this town are rich in scenery changes
from season to season.



風越山

木曽八景 ● 風越の青嵐

木曽駒ヶ岳の麓にある、
「風越の青嵐」は、
木曽八景のひとつに数えられている。
かつては牧草を育てるため
住民に親しまれてきた里山。
頂上は青々とした草に覆われ
カヤの平原を風が波のように
駆け上っていく風景も、
山好きにとっては旅の興です。



Mt. Kazakoshi-yama is a place in close connection with
the life of people in Agematsu-town.
From the top of the hill, you can look over the whole town.
The scene will be deeply impressed on your mind.



野尻集落から木曽駒ヶ岳方面を望む



駒ヶ岳と中岳



駒ヶ岳夕照



晩秋の中央アルプス



迫り来る高空の峰、
中央アルプスを歩く

険しく厳かな山容、
緑と岩の印象的なコントラスト、
峰に立つ者だけに与えられる至宝の自然が
今日も木曽谷に威光を放っています。

木曽駒ヶ岳、宝剣岳、空木岳



CENTRAL ALPS

空木岳 [E-6] (標高2,864m)
中央アルプスのほぼ中間に位置し、木曽駒ヶ岳に次ぐ高峰。堂々とした山容は、花崗岩の白い砂礫とハイマツのコントラストも美しく、深田久弥氏の日本百名山に数えられています。



木曽古道のんびり歩く

中山道が開かれるその昔から、

木曽谷を貫いていた中世の道が「木曽古道」。

流れに惑わされる木曽川沿道を避け、

なだらかな麓をなぞるように

里から里へづく道は、山々の眺めを楽しみ、

季節の声に耳を澄ます

どこか長閑な余韻がありました。

今、その細道は御嶽山、

乗鞍岳を仰いで歩く散策路。

トレッキングが楽しみな道です。



②東野阿弥陀堂【D-5】
TONO AMIDADO

上松町東野地区の集落の中ほどにあるお堂で、木曽谷で最も古い建築物と言われています。堂の天井には、山村代官おかげの絵師・池井裕川が描いた花鳥の絵があり、その精緻な筆運び、鏡板内陣36枚、外圧巻陣72枚の枚数は圧巻。木曽古道散策の途中に見学するのもおすすめです。



-21-



①駒ヶ岳神社【C-5】
KOMAGATAKE SHIRINE SATOMIYA
木曾駒ヶ岳は古くは信仰の山で、山頂には駒ヶ岳神社の奥院があります。上松町には里宮があり、奉納される太々神樂は有名です。



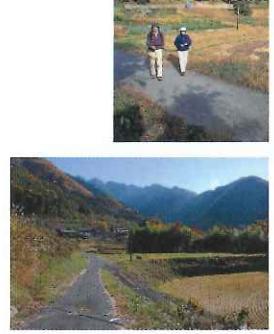
木曽古道(信濃路自然歩道)【D-5】
KISO KODO

寝覚の床や小野の滝、東野阿弥陀堂、風越山へのハイクに木曽古道は最適。のんびりとした風情、林道での森林浴も楽しみです。

<Strolling about the Ancient Kiso Road>

The road having been constructed about 1,000 years ago still remains.

You may scroll about the road enjoying the splendid views of Mt. Kisokomagatake, Mt. Ontake and Mt. Norikura.



木曽古道(信濃路自然歩道)【D-5】
KISO KODO

中山道が整備される以前から交通路として利用された古代のバイパス。木曾駒ヶ岳山麓を南北に延び、山間の集落を辿る道すがらには「木曽古道」の道標があります。



ケルンバット【D-5】KERNBUT

木曾駒ヶ岳の東側に走る上松断層。この断層に沿った地形に、ケルンバットとケルンコルがあります。ケルンバットは断層の破砕帯に発生する小高い頂、ケルンコルは断層の鞍部で谷状の地形で、木曽古道はケルンコルを利用しています。上松町の東部は日本でも有数のケルンバット地帯です。
(上松町史自然編より)



-22-

In Agematsu town, many events ranging from traditional functions to modern programs will be held throughout the year.



駒ヶ岳神社例祭【C-5】

KOMAGATAKE SHRINE REISAI

木曾駒ヶ岳頂上に奥院がある駒ヶ岳神社の例祭。麓の里宮において行われ、国の選択無形民俗文化財に指定される「太々神樂(たいだいかぐら)」を奉納します。13座の舞台で構成され太々神樂は、400年以上前から伝わる奉納の舞で、地区的家々に一子相伝で伝えられており、門外不出とされています。舞台では、剣を手にした3人の舞手による厳かな「三剣の舞」や、白い天狗の面を付けた4人が高々と舞う「四神五返舞」の姿が有名で、迫力ある瞬間を見ようと毎年多くの観客・カメラマンが訪れます。

<毎年5月3日開催>



SUWA SHRINE REISAI

諏訪神社例祭(上松祭)【C-6】

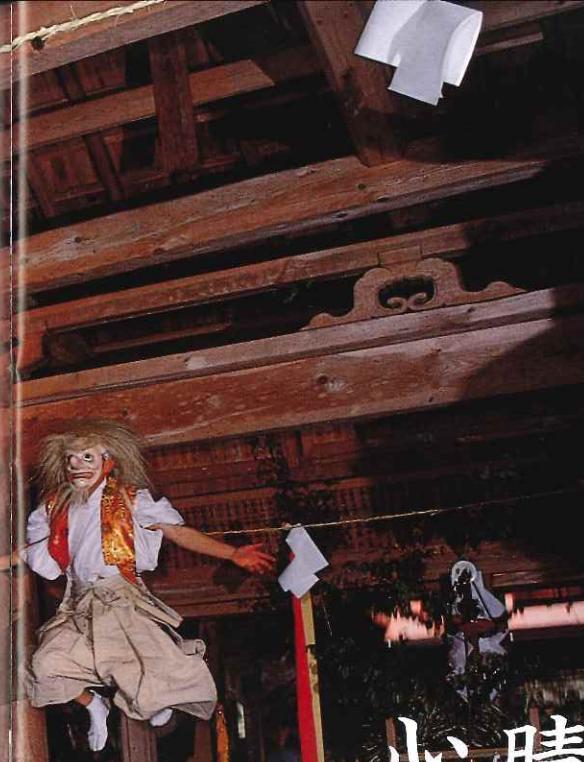
ひのきの里の夏まつり

町を挙げての賑やかな夏祭り。その昔、伐採した木を山から下ろす時に使われた「木馬(きんま)」を人間が引つてタイムを競う木馬引き大会や花火大会、木工品即売会、木曽踊りなどが行われます。花火大会は合いで行うため約300の発花火の音が山々に反響し迫力と情緒を演出。木馬引き大会では奇抜な扮装が笑いを誘います。(7月最終土曜日)



HINOKI-NO-SATO SUMMER FESTIVAL

ひのきの里の夏まつり連中によって「芸ざらい」といわれる地歌舞伎獅子狂言が上演られます。翌日からは中山道の道中を中心に盛大に執り行われます。八幡宮境内で行われる宵祭りは「上松若連」と呼ばれる氏子の若連中の間で「芸ざらい」といわれる地歌舞伎獅子狂言が上演されます。翌日からは八幡宮の間に御輿渡りや神楽の押し出しが繰り広げられます。上松では番大きなお祭りであり、祭りの期間中は、笛や太鼓の音が響き、町は祭り一色になります。(9月上旬)



心晴れと
心の伝承。



小川若宮神社例祭【C-7】

上松町島の小川若宮神社の例祭。伝統的な獅子狂言が、春爛漫の3日間にわたりて奉納されます。狂言は地元の若連による熱演です。独特の獅子狂言「葛の葉」は、母と娘の別れの辛さを演じるもので、獅子頭をかぶった女形が、筆をもわえて戸板に恨み詩を書き付け舞台は珍しいものです。小川若宮神社境内での上演は最終日午後です。(4月下旬)



OGAWA WAKAMIYA SHRINE REISAI

神秘に息をのみ、
熱気に目を奪われる感動。
一瞬の光景は、永遠の記憶になつて語り継がれて、いきます。

舞や踊り、ひとつの仕草に込められた歴史の奥義。
一拳手投足に秘められた古式の祈り。
天下泰平、豊年満作、感謝の気持ち、大事な節目を厳かに美しく飾るさまざまな祭事が、感動を呼び覚みます。

上松町の歴史と伝説

HISTORY AND LEGEND OF AGEMATSU TOWN

新田墓地の六地蔵

SHINDENBOCHI-NO-ROKUJIZO

六地蔵は上松で一番古い地蔵様で、延宝六年七月（二六七八）に建立されました。建立者の氏名が裏面に彫られています。

右側より

護讚地蔵 森 八郎兵衛
弁尼地蔵 小松 庄兵衛
破勝地蔵 三尾 重兵衛
延命地蔵 千村 三郎兵衛
不休息地蔵 藤田 九郎右衛門
讚竜地蔵 原 庄左衛門
同七三良母



HIMEBUCHI-NO-HIWA (SAD LEGEND)

姫渕悲話伝説

HIMEBUCHI-NO-HIWA (SAD LEGEND)

本殿は江戸中期の代表的な社殿建築で、上松町では番古八神社です。毎年九月上旬には、幕末の頃、三河の神田徳七という人物から伝えられた「芸ざらい」と呼ばれる獅子狂言が若連によって上演されます。狂言の女方はすべて獅子が演じ、台本には十八の演目があります。

八幡宮

HACHIMANGU SHIRIEN

本殿は江戸中期の代表的な社殿建築で、上松町では番古八神社です。毎年九月上旬には、幕末の頃、三河の神田徳七という人物から伝えられた「芸ざらい」と呼ばれる獅子狂言が若連によって上演されます。狂言の女方はすべて獅子が演じ、台本には十八の演目があります。

上松の御陣屋

AGEMATSU-NO-GOJUNYA (OLD POSITION)

材木役所は御陣屋と呼ばれ、檜の丸太を使った芝土手を築き、入口に大砲を備える堅牢な陣地になっていました。山方一切の業務を取り上げた山村氏への尾張藩の警戒、あるいは木曾谷住民全般に対する

礼をすると言いましたが、村人は小判だけを取り上げて願いは聞きませんでした。途方にくれたお姫様は山路を逃げ、名も無き滝のほとりに身を隠すも追っ手に発見され、ついには滝に身を投じたのでした。以来この滝は「隠れ滝」と呼ばれ、滝上の祠は姫を祀ったものとされます。

かくれ滝のお姫様の伝説

LEGEND OF KAKUREDAKI FALLS

示威とされる陣屋と推察され、正面玄関の七尺（一・三メートル）の高土手には「御陣屋の松」と呼ばれた松が植えられていたとされます。

御獄の四門

ONTAKE-NO-YONMON (SACRED GROUND)

登拝や修業にはさまざまな時期、順序、方法、行場などが定められていますが、御獄の四門もこれら修驗道に関係のある決まり事です。四門とは、吉野の金峯山などで知られているように、発心（東）、修行（南）、菩提（西）、涅槃（北）を指します。御獄では御獄を中心にしてこの四門が定められ、北は鳥居峠、東は岩郷村（現木曾町福島）の神戸、西は飛騨街道筋の長峰峠、南は三浦山中の押殿山を指しました。いずれも木曾谷に入つて初めて御獄山を目にすることのできる場所であり、修驗者にとっては修行の大切な場所として重視していました。木曾谷内には、中山道より古く御獄山へ参拝に使われたという道が伝えられています。

原畑用水

HARAHATA YOUSUI (DEVELOPMENT OF WATERWAY)

寛永年間、上松村の名主・塚本惣兵衛は、水路方面の地主・大戸市之丞とともに新田開墾に向けて滑川から原野へ疎水を計画します。しかし決済等の恐れから反対に遭い、ついには御陣屋の防火用水という触れ出しが工事を進めました。困難を極めた水路延長約三キロの大工事は、およそ六年間に及びました。用水は町部見帰、寝覚各地区に上水道ができる昭和三十年まで飲用水や防火用水に利用され、現在もなお各方面に使われています。

不思議な浮石

MYSTEROUS STONE

その昔、木曾の棧から寝覚の床まで、行ったり来たりする不思議な石がありました。この石が流れるところまで不幸な事が起き、それを聞いた旅の僧が「首歌」を詠んでこれを鎮めました。短冊には「波計や弥生の糸つながれて浮いたる石の流れこそせぬ」。以来この石は動かず、村に不幸な出来事も無くなりました。鬼淵の上流には今もその石が残っているそうです。



浦島伝説

URASHIMA DENSETSU (A TALE OF OLD JAPAN)

弁財天の尊像、龍宮城に再び戻つて来らる萬神書一巻、そして玉手箱を携えて故郷に帰ってきた浦島太郎。しかしそこは誰一人として知る者の無い未知の世間。驚いた太郎は飛行の術、長寿の薬法などが記され万宝神書を読み、足にまかせて諸国旅途に出ます。そしてたまたま気に入つて住み着いたのが寝覚の床。ここで太郎は忘れていた京から一人逃れてきました。ある時は村人にかくまわれ、またある時は後難を恐れた村人に見放されながら、必死に逃げるもついに小川の里で姫は見つけられてしまします。姫の持つ香袋の麝香が追手に嗅ぎ付けられてしまひたのでした。いよいよ道も果て深い淵を前に逃げるすべをなくした姫は、逃げる途中で見た京に似た田園風景を思い出し、懐かしい家族を想い、田植の真似をしながら田植歌を唱います。

高倉以仁王の御子・姫宮（十五歳）は、宇治の戦いで逃げ落ちた父が木曾谷に居ることを聞きつけ、追手の難をかわしながら、京から一人逃れてきました。ある時は村人にかくまわれ、またある時は後難を恐れた村人に見放されながら、必死に逃げるもついに小川の里で姫は見つけられてしまします。姫の持つ香袋の麝香が追手に嗅ぎ付けられてしまひたのでした。いよいよ道も果て深い淵を前に逃げるすべをなくした姫は、逃げる途中で見た京に似た田園風景を思い出し、懐かしい家族を想い、田植の真似をしながら田植歌を唱います。

民宿 わらび荘 [D-5]

TEL.0264-52-3848
 ●定員／30
 ●部屋数／15
 ●営業期間／
 1月11日～12月27日

棧温泉旅館 [A-4]

TEL.0264-52-2276
 ●定員／35
 ●部屋数／9
 ●営業期間／通年

堺重旅館 [B-4]

TEL.0264-52-2036
 ●定員／10
 ●部屋数／3
 ●営業期間／
 1月2日～12月30日

田政旅館 [B-5]

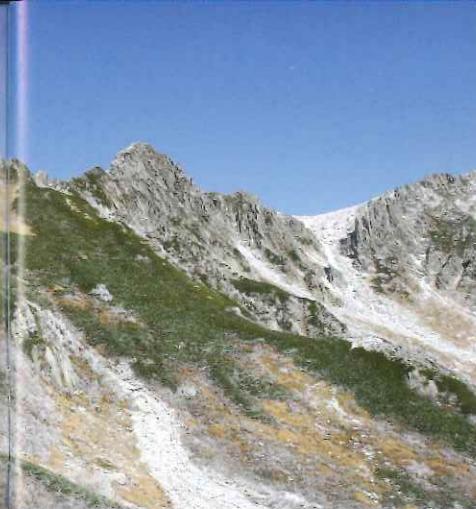
TEL.0264-52-2053
 ●定員／50
 ●部屋数／12
 ●営業期間／
 1月4日～12月30日

旅館 灰沢鉱泉 [C-3]

TEL.0264-52-3287
 ●定員／10
 ●部屋数／4
 ●営業期間／
 1～3月頃まで冬期営業
 上記水道凍結時は休業

信州木曾御膳 1,080円

坂下家料理店
 上松町駅前通り2-36
 TEL.0264-52-2059
 ●休日／月曜日(年末年始を除く)
 ●期間／通年
 ●受入数／20～300まで



上松 旅の宿

宿泊料(自安／1泊2食、1名当たり)

民宿:8,000円～ 旅館:10,000円～

位置図:折込マップ「上松町の観光ガイド」参照

木曽殿山荘 [E-6]

TEL.0573-72-4380
 ●定員／80
 ●営業期間／
 7月1日～10月上旬
 ●090-5638-8193



民宿 去来荘 [D-2]

TEL.0264-52-2602
 ●定員／30
 ●部屋数／7
 ●営業期間／
 赤沢開園期間中



民宿 さわぐち [C-3]

TEL.0264-52-3422
 ●定員／50
 ●部屋数／13
 ●営業期間／通年



駒ヶ岳頂上木曽小屋 [C-7]

TEL.0264-52-3882
 ●定員／100
 ●営業期間／
 GW・6月中旬～11月3日



民宿 西小川 [C-4]

TEL.0264-52-4009
 ●定員／18
 ●部屋数／6
 ●営業期間／通年



玉乃窪山荘 [C-7]

TEL.0264-52-2682
 ●定員／100
 ●営業期間／
 7月1日～10月体育の日
 (9月・10月は土日・連休のみ)
 ●090-4181-8573



ご注文は、各店10個から承ります。
 発注は五日前までにお願いいたします。
 お弁当の詳しいお問い合わせは、
 直接各店へお電話ください。季節に
 より内容が変わることがございます。

上松宿のお弁当

BOX LUNCH OF AGEMATSU TOWN

ほおばる会



赤沢遊歩弁当の内 864円

上松町特産品開発センター
 上松町大字小川3428
 TEL.0264-52-1505
 ●休日／不定休●期間／通年
 ●受入数／20～200



寝覚旅情 864円

ねざめホテル
 上松町大字上松1888
 TEL.0264-52-2245
 ●休日／なし●期間／通年
 ●受入数／20～200



山幸おこわ弁当 1,080円

栄家
 上松町栄町2-36
 TEL.0264-52-2252
 ●休日／不定休●期間／通年
 ●受入数／20～100



ともえ弁当 864円

そうざいの店上平
 上松町上旭町
 TEL.0264-52-3059
 ●休日／なし●期間／通年
 ●受入数／20～150まで



せせらぎ弁当 1,080円

せせらぎの里 赤沢
 上松町大字小川入国有林内
 TEL.0264-52-2792
 ●休日／火曜日(赤沢夏期イベント期間中無休)
 ●期間／赤沢開園期間中
 ●受入数／20～300まで